

Reichert 7^{CR}™

AUTO TONOMETER + CORNEAL RESPONSE TECHNOLOGY™

ライカート 7CR

角膜レスポンステクノロジーを応用した
オートノンコンタクトトノメータ
緑内障診断に役立つ眼圧計



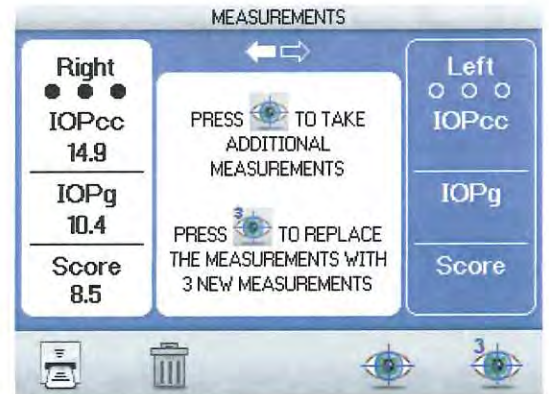
角膜生体力学特性による影響の少ない 新しい概念の眼圧 IOPcc を提供!

IOPcc ~Corneal Compensated IOP

ゴールドマン眼圧計の測定値が角膜の剛性や厚みなどの影響を受けることは、近年数多く報告されており、角膜厚に基づく測定値の補正は必ずしも十分ではありません。

ライカート7CRは、独自の方法で角膜生体力学的特性を定量化し、その影響の少ない眼圧測定を実現しました。この新しい概念の眼圧はIOPccと呼ばれ、緑内障のスクリーニングや診断、管理に役立ちます。

従来のゴールドマン式眼圧計に相当する眼圧、IOPg (Goldmann-correlated IOP)も同時に表示されます。これまでどおりの診断が可能なおうえ、IOPccとの比較でより客観的な眼圧を把握できるようになりました。



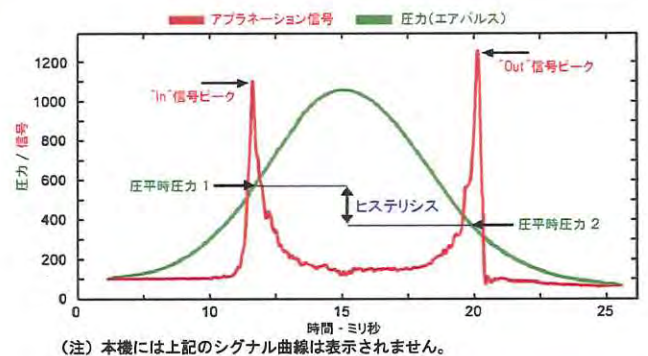
角膜圧平を動的検出して眼圧を測定

ライカート7CRは、エアパルスに対する角膜の反応をモニターします。

エアパルスを受け内側に押された角膜は、最初の圧平状態を迎え、その後わずかに窪みます。圧平状態から数ミリ秒後エアパルスが遮断されると角膜は復元し、再び平坦な状態を迎えます。

ライカート7CRは、上記わずか約20ミリ秒間の角膜反応を監視し、双方向の圧平状態での圧力を算出します。角膜反応はその生体力学特性によって異なるため、それぞれの圧平状態の圧力には差があります。これをヒステリシスと呼びます。

IOPccは、このヒステリシスを元に算出されます。



簡単操作で高精度

ライカート7CRにはフルオートアライメントシステムが搭載されており、タッチスクリーン画面のアイコンに触れるだけで、全自動で測定を行います。操作は非常にシンプルで、特別な訓練を必要としません。

測定結果の信頼性は、測定毎に得られるシグナル曲線をシステム内で自動判定した10点満点のWaveformスコアによって確認できます。

同じ眼を複数回検査した場合、Waveformスコアに従ってもっとも信頼性の高いデータが採用されますので、これまでのように平均値に頼る必要はありません。

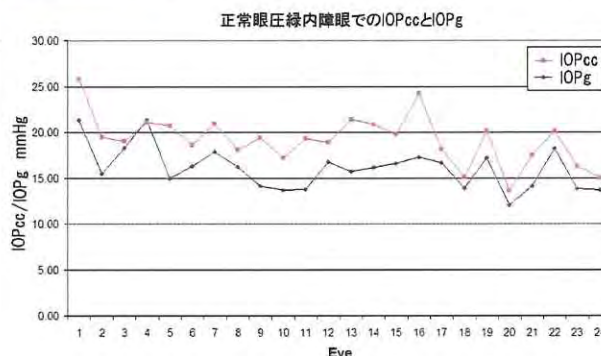
仕様

測定範囲	7 ~ 60 mmHg
電源電圧	AC 100 V 50/60 Hz
外観寸法	267(W)×356(D)×502(H) mm
重量	10.4 kg
内蔵プリンター	サーマル式ラインプリンター
ポート	USB

緑内障診断に役立つ眼圧計

ライカート7CRは以下の場合に有用です。

- 正常眼圧緑内障
- 開放隅角緑内障
- LASIK 等の屈折矯正手術後
- Fuchs' ジストロフィ、角膜浮腫
- 円錐角膜
- 角膜厚の厚い、薄い、もしくは特殊な角膜特性のある患者



改良のため、当カタログ記載の内容及び仕様は予告なしに変更することがあります。

製造元: Reichert, Inc. 米国

輸入販売元

Reichert
TECHNOLOGIES
Advancing Eye Care. Preserving Sight.™

株式会社コーナン・メディカル
西宮営業部: 〒662-0976 兵庫県西宮市宮西町10-29
TEL 0798-36-3455 FAX 0798-33-0334
東京営業所: 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-40-17
TEL 03-5337-2025 FAX 03-5337-2026
<http://www.konan.com/>